


# 東京交通新聞 2016年1月18日号



ウェアラブルセンサー  
連動健康管理システム  
トライプロ販売開始

トライプロ（東京・世田谷区）は12日、バス・タクシー・トラックドライバーの安全運行を支援するウェアラブル（身につけて使う）センサー連動の動態・健康管理システム「スマ・ロケ Health care」の写真を開始した。

スマートフォン連動型・動態管理のスマ・ロケと、腕時計型・脈拍機能計測付き活動量計（ウェアラブルセンサー）を連動させた。

ドライバーの脈拍をリアルタイムに取得し、設定値を超えた場合、運行管理者に位置情報とともに管理画面で警告。警告メールも通知する。

日々の睡眠（睡眠総時間、浅い眠り、深い眠り）や運動量、歩数などをデータベースに自動保存。日常の健康管理をはじめ、履歴や推移の確認・分析もできる。

ウェアラブルセンサーを腕時計のように装着するため、乗務員の心理的負担は少なく、車載器も不要。

昨年8月から運送事業者の車両122台で試験的に運用し、安定した実績を上げている。問い合わせは03(5790)9225  
▽電子メール info@trypro.co.jp